

当面の情報提供案（渇水・緊急時）

情報の区分	現在の提供状況	当面の情報提供案	実現のために必要となるデータ、システム等
a. 河川・ダムの情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川流量やダム貯水量の低下状況、水系単位での取水制限の実施状況</li> <li>渇水の見通しとして、ダムの貯水量の予測。</li> </ul>	<p>現在の気象状況が継続し、今の渇水調整ルールを続けた場合について、全ての水系について、以下の情報を提供。</p> <p>水源となっている河川の流量とダム貯水量の現況と低下の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>過去の渇水履歴と比較して見られるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施河川の例を参考に、各水系で準備</li> </ul>
		<p>ダム等からの補給に関する情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設の運用状況（ダムからの放流量、基準点での確保流量など）</li> <li>地下水等の取水状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の運用状況及びその見通しを分かりやすく整理、図示。</li> </ul>
		<p>取水制限の見通し</p>	
		<p>河川環境の現状と見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>河川の水位や流量の低下によって、生物の生息・生育の場等がどのように変化しているか現状と見通し</li> </ul> <p>（河川の維持流量を表す指標による情報提供を検討）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川水位等を予測し、生態等への影響の評価。</li> <li>河川の維持流量を表す指標を検討。</li> </ul>
b. 居住地等の渇水情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道事業者より、断水に関する情報（断水地域、断水時間、断水開始日・強化日等）</li> </ul>	<p>断水の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各市町村の断水等の見通しが一目でわかるようにマップでも提供。</li> <li>断水時間等の結果のみの情報ではなく、ダムがどのような補給をしているか、取水の状況を提供。（あわせて、水道事業者と協力して配水の状況を提供できるように検討。）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道事業者に取水制限時の給水への影響を聞き取りするなどして、あらかじめ取水制限の率と地域毎の給水の影響を整理。</li> <li>利根川の例を参考に各地方の代表河川で試行実施。</li> </ul>
		<p>断水等の程度と被害の関係がわかる情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各市町村毎に断水等の程度とそれに応じた被害の程度。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道事業者と協力して、過去の渇水時の断水時間と生活への影響の関係を整理。</li> </ul>
		<p>渇水被害の情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>田の干上がり状況や給水車の出動状況等</li> <li>被害の情報と併せて地下水取水に伴う地盤沈下のおそれ等の情報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地下水取水と地盤沈下に関する既存資料等の取り纏め</li> <li>リアルタイムの地下水取水状況、地下水低下状況、地盤沈下状況データを入手し提供するシステムを構築</li> </ul>
c. 住民のとりべき行動に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>節水に関する呼びかけ</li> </ul>	<p>渇水の段階に応じ、基礎的な生活を維持できるための情報</p> <p>渇水の段階に応じ、早めの準備を可能とするための情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>減圧給水時には湯沸し器は使用できないというような各段階で想定される被害と、そのための備えや行動のための情報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道事業者と協力して、過去の渇水時の断水時間と生活への影響の関係を整理。</li> </ul>

当面の情報提供案（渇水・平常時）

情報の区分	現在の提供状況	当面の提供案	実現のために必要となるデータ、システム等
<p>a . 渇水時に的確に行動したり、備えたりするための情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水系全体としての利水安全度や、過去の渇水実績を提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>居住地の水道が供給されるまでの経過に関わる情報</li> <li>居住地には、どの河川の水がどのように貯留され、どこで取水され、給水されているのかの情報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大和川の例を参考に、水道水源に関わる情報を代表河川において実施試行。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>取水制限の程度と給水への影響の関係についての情報</li> <li>取水制限の率と地域毎の給水への影響を提供。</li> <li>その際、各市町村の状況が一目でわかるようにマップの形で提供。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利根川の例を参考に代表河川において試行。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>断水時間と生活への影響の関係についての情報</li> <li>断水の程度に応じて、生活への影響を提供。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道事業者と協力して、過去の渇水時の断水時間と生活への影響の関係を整理。</li> </ul>
		<p>渇水時の備えのためにとるべき行動</p>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>渇水ハザードマップ</li> <li>計画の渇水が起こったときに、過去の実績や渇水調整ルールに基づけば、各市町村ではどのような渇水による被害が起こるかという情報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道事業者に取水制限時の給水への影響を聞き取りするなどして、あらかじめ取水制限の率と地域毎の給水の影響を整理。</li> </ul>
<p>b . 施設整備に関する情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>10年から15年先の将来の水需要に対して、どの程度の供給量となっているかという情報</li> <li>利水安全度の評価に関する情報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別地域で、どの程度の断水等による被害が起こる可能性があるかの情報</li> <li>計画の渇水が起こったときに、過去の実績や渇水調整ルールに基づけば、各市町村ではどのような渇水による被害が起こるかという情報</li> <li>施設整備前後における個別地域の断水等による被害の程度に関する情報</li> <li>マップや総合化した数値で提供</li> <li>全国、県別、水系別等での事業効果</li> <li>マップや総合化した数値で提供</li> <li>水系毎の供給施設の実力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水マネジメント懇談会の提言（フルプラン水系の事例を参考に各水系で整理）</li> </ul>